

第85期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで



新光電気工業株式会社

証券コード6967





株主の皆様には、平素よりひとかたならぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。第85期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

藤田 正美

当中間期における半導体業界は、米中貿易摩擦等を背景とする世界景気の減速傾向が強まる中、スマートフォン市場の低迷ならびにデータセンター向けの投資減速等により、メモリー需要が大きく減少するなど、厳しい状況が継続しました。

このような環境下において、当社グループにおきましては、フリップチップタイプパッケージならびにヒートスプレッダーは増収となりましたが、半導体製造装置向けセラミック静電チャックの需要が減少し、また、リードフレームは自動車向け等が低調に推移しました。これらの結果、当中間期の連結売上高は692億56百万円（対前年同期比5.4%減）となりました。収益面につきましては、セラミック静電チャック、リードフレーム等の所要減少の影響を大きく受けるとともに、サーバー市場伸び悩みにより、フリップチップタイプパッケージにおいて高付加価値製品が低調に推移したことなどにより、経常損失は5億24百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は9億99百万円と厳しい結果となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株当たり12円50銭とさせていただきます。

今後の半導体産業は、次世代移動通信規格（5G）の実用化等を背景として、半導体需要の増加が見込まれる一方、高度化する市場ニーズに迅速かつ柔軟に対応し得る開発・生産体制を構築することを要するなど、世界規模での競争が一段と激化し、厳しい事業環境が続くものと想定されます。

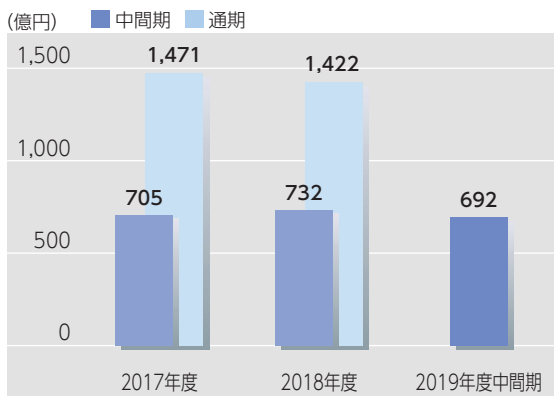
当社グループは、このような状況に対処するため、高性能半導体向けに需要拡大が見込まれる次世代フリップチップタイプパッケージの設備投資を高丘工場（長野県中野市）等において展開するなど、新たな成長に向けた取り組みを推進するとともに、一層の生産性向上ならびにコスト低減に努め、収益力の改善をはかってまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

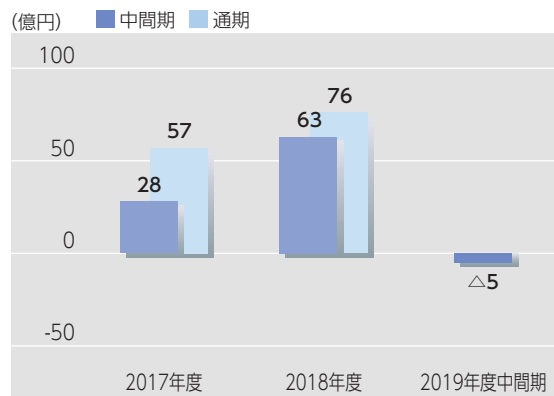
2019年11月

(連結)

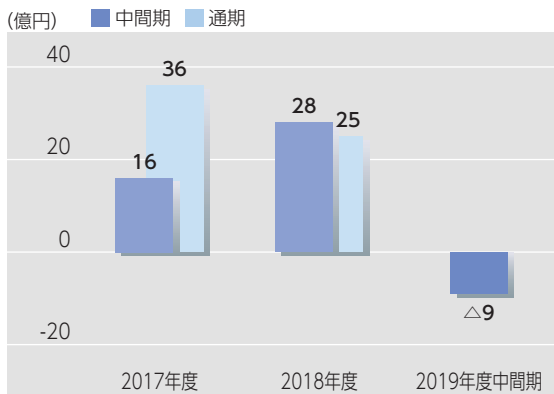
売上高



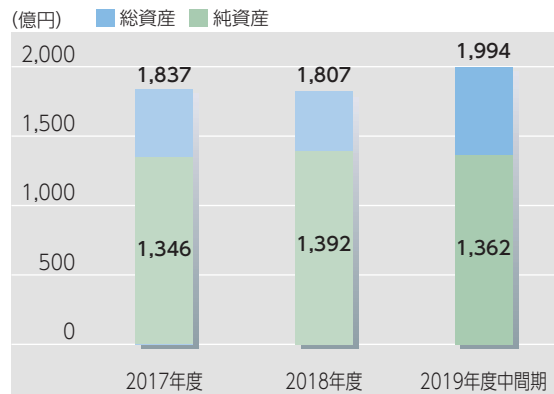
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総資産／純資産



ICリードフレーム部門

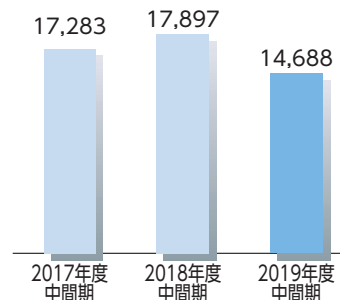


リードフレーム

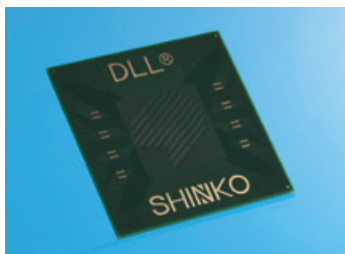
売上高 **146億88百万円**
(前年同期比 \downarrow 17.9%) **21.2%**

リードフレームは、期後半にかけ回復傾向を示したものの、自動車向けやスマートフォン向けなどの需要が減少し、また、メモリー向けの受注が低下しました。これらの結果、売上高は前年同期比減収となりました。

部門別売上高 (百万円)



ICパッケージ部門

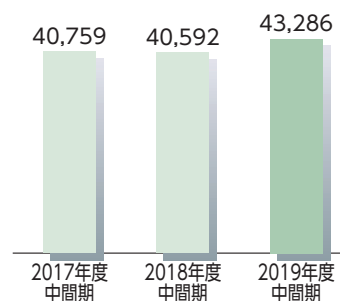


フリップチップタイプパッケージ

売上高 **432億86百万円**
(前年同期比 \uparrow 6.6%) **62.5%**

スマートフォン市場の減速等により、プラスチックBGA基板、IC組立は減収となりました。一方、フリップチップタイプパッケージは、パソコン向けの受注が拡大し、CPU向けヒートスプレッダーの需要が増加したことなどにより、売上高は前年同期比で増収となりました。

部門別売上高 (百万円)



気密部品部門

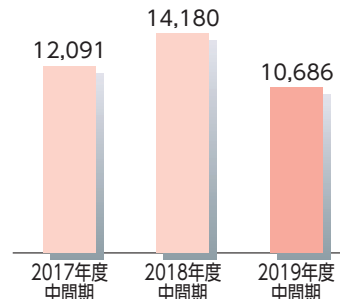


セラミック静電チャック

売上高 **106億86百万円**
(前年同期比 \downarrow 24.6%) **15.4%**

半導体製造装置向けセラミック静電チャックは、メモリー市況悪化等による投資抑制の影響を受け、ガラス端子は光通信向けなどが低調に推移しました。これらの結果、売上高は前年同期を大きく下回りました。

部門別売上高 (百万円)



決算概要 (連結)

Financial Statements(Consolidated)

■連結貸借対照表

科目	(単位：百万円)	
	当中間期 (2019年9月30日現在)	前期 (2019年3月31日現在)
資産の部	199,482	180,793
流動資産	105,186	103,961
固定資産	94,296	76,831
有形固定資産	87,683	70,397
無形固定資産	1,180	1,234
投資その他の資産	5,432	5,199
資産合計	199,482	180,793

科目	(単位：百万円)	
	当中間期 (2019年9月30日現在)	前期 (2019年3月31日現在)
負債の部	63,214	41,592
流動負債	58,821	36,477
固定負債	4,392	5,115
純資産の部	136,268	139,200
株主資本	140,571	143,259
資本金	24,223	24,223
資本剰余金	24,129	24,129
利益剰余金	92,311	94,999
自己株式	△ 92	△ 92
その他の包括利益累計額	△ 4,303	△ 4,058
負債純資産合計	199,482	180,793

■連結損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	当中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	69,256	73,202
売上原価	64,165	63,156
売上総利益	5,091	10,046
販売費及び一般管理費	6,043	6,269
営業利益	△ 951	3,776
営業外収益	456	2,576
営業外費用	29	2
経常利益	△ 524	6,349
特別損失	646	2,243
税金等調整前四半期純利益	△ 1,171	4,106
法人税、住民税及び事業税	91	1,813
法人税等調整額	△ 263	△ 530
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 999	2,824

■連結キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位：百万円)	
	当中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,150	11,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,360	△ 7,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,670	△ 1,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 367	1,181
現金及び現金同等物の増減額	3,092	3,219
現金及び現金同等物の期首残高	46,315	45,666
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,407	48,885

会社の概要

Corporate Data

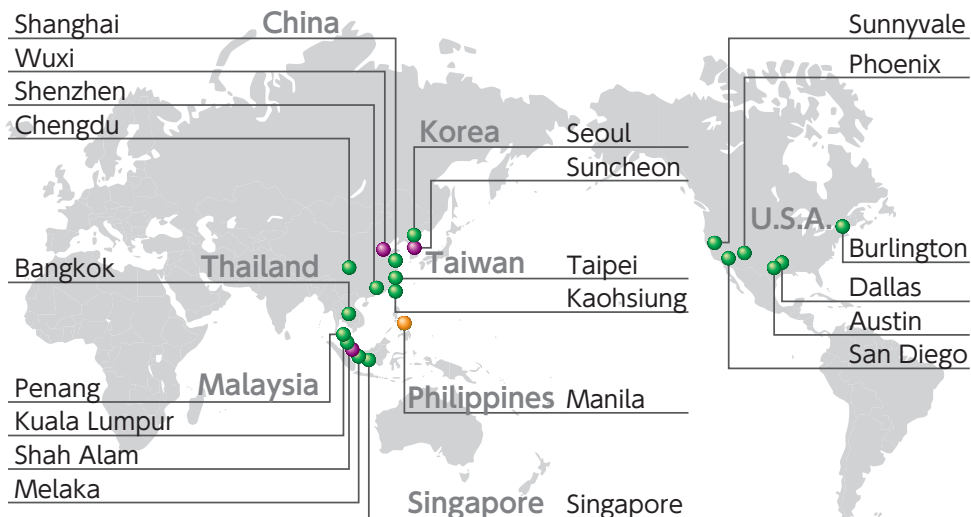
(2019年9月30日現在)

取締役

(2019年9月30日現在)

- 商号 新光電気工業株式会社
- 設立年月日 1946年9月12日
- 本社 長野県長野市小島町田80番地
電話 (026) 283-1000 [代表]
- 主な事業内容 リードフレーム、プラスチック・ラミネート・
パッケージ、ガラス端子などの製造・販売、
ICアSEMBリ
- 従業員数 4,115名 (連結4,919名)
- 工場等 更北、若穂、高丘、新井、京ヶ瀬、
新光開発センター、栗田総合センター
- 営業所等 東京、大阪、仙台、長野、名古屋、大分、福岡、
マニラ
- グローバルネットワーク

代表取締役社長	藤田正美
代表取締役専務執行役員	長谷部浩
取締役常務執行役員	小平正司
取締役常務執行役員	小澤隆史
取締役常勤監査等委員	伊藤明彦
取締役監査等委員	北澤光二
取締役監査等委員	荒木泉水



● 営業拠点 ● 駐在員事務所 ● 生産拠点

株式の状況

Shareholders' Data

(2019年9月30日現在)

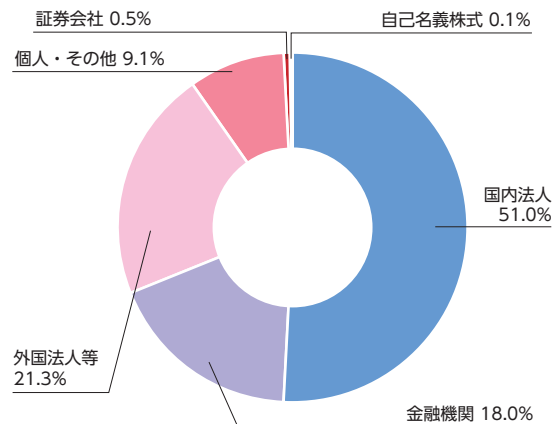
- 発行可能株式総数 540,000,000株
- 資本金 24,223,020,480円
- 発行済株式の総数 135,171,942株
- 株主数 12,626名
- 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富士通株式会社	67,587	50.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,279	3.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,480	3.32
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	3,439	2.55
野村信託銀行株式会社 (投信口)	2,640	1.95
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	2,565	1.90
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE HCR00	2,303	1.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	2,121	1.57
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,842	1.36
株式会社八十二銀行	1,836	1.36

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

(2019年9月30日現在)



株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、株主優待制度を導入しております。

対象となる株主様

当社株式を1年以上継続保有(※)されているとともに、毎年3月31日を基準日として300株以上を保有されている株主の皆様

※「1年以上継続保有」とは、3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて3回以上連続して記載または記録されていることをいいます。

優待内容

当社工場が所在する長野県・新潟県の特産品(3,000円相当)、または社会貢献活動への寄付をお選びいただけます。

ご案内時期

株主優待に関するご案内の発送は6月を予定しております。

寄付のご報告

2019年3月期の株主優待において、71名の株主様に「日本赤十字社への寄付」をご選択いただきました。多くの株主様より温かいご芳志を賜り、心より御礼申し上げます。

◆ 寄付金総額: 426,000円

※株主様からの寄付金に当社が同額を加え、日本赤十字社に寄付しております。

◆ 寄付日: 2019年9月30日

株主優待制度の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

新光電気工業 株主優待 検索

CLICK!



<https://www.shinko.co.jp/ir/shareholder.html>

株式事務のご案内

■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

■基準日

定時株主総会関係
配当金受領株主確定日

3月31日
3月31日および中間配当金の支払いを行う
ときは9月30日

■公告方法

電子公告
当社は、公告を下記ウェブサイトに掲載して
おります。

<https://www.shinko.co.jp/ir/kk/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他の各種
お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券
会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、
三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連
絡先にお問い合わせください。三菱UFJ信託銀行全国各支店におい
てもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払
いいたします。



新光電気工業株式会社

〒381-2287 長野県長野市小島田町 80 番地
電話(026)283-1000〔代表〕FAX(026)284-8861
<https://www.shinko.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



地球環境に配慮した植物油
インキを使用しています。